学校番号	416

令和３年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　標準現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	常用漢字クリア四訂版（尚文出版）別冊徹底トレーニングノート（尚文出版） 三訂版 プログレス【読解・論点・探求】新訂総合国語便覧（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文では文章の「読む力」をつけましょう。文章構造に注意して読み進める事が重要です。それが「論理的思考力」を鍛える事につながります。論理的思考力は入試にも社会に出ても必須ですので是非身につけましょう。
・小説では登場人物の動作、言動、風景描写等を元に登場人物の心情を論理的に推察していきます。それに加え、「自分がもしこの話の登場人物だったらどうするか。どう思うか。」も同時に考えていきます。物語の登場人物の人生を仮想体験することで、見方の違う考え方に気づき、想像する力をつけましょう。
・上記の学習に加え、感想をまとめたり、発表をしたり、様々な人々と意見を交換する活動など主体的に行い、「話す・聞く能力」と「書く能力」を身に付けてコミュニケーションに活かしましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。また、授業中の漢字テストに備え、常に復習しておきましょう。

２　学習の到達目標

・言語感覚を磨き、文章構造の理解、論理的な思考力、豊かな想像力を活用することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構造を理解し、登場人物の心情を理解することができる。
・その場、相手に応じた伝える力をつけ、話す技術、聞く技術、書く技術を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：話す・聞く能力	ｃ：書く能力	ｄ：読む能力	ｅ：知識・理解
観点の趣旨	国語や言語文化に関する関心を深め、自らの言語能力の向上を図り、進んで表現したり理解したりすると共に、伝え合おうとする。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えをまとめたり、深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。	文章の内容を的確に読み取り、目的に応じて様々な文章を読むことで、自分の考えを深める。	表現と理解に役立てるための音声や表記、語彙、等を理解し身につけている。
評価方法	行動（発言・発表）の観察 記述の点検（ノート、プリント等）	行動の観察（発表の評価、相手の意見をしっかり聞いた上で応答できるか等の評価）	記述の確認と分析（ノート、プリント、原稿用紙等）	記述の確認と分析（ノート、プリント、原稿用紙） 定期考査	確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

・4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	『食と想像力』辺見　庸	・日本とタイの経済状況や食生活、タイの人の食費よりも高い日本の猫の缶詰などの対比構造を読み解く。 ・具体例から筆者の意見という文章構造を読み解く。 ・現代文に多く描かれている現代社会への批判を捉え、自分たちの生活を振り返って考察する。 ・・新しい漢字や語句を学習する。	○		○	○		a、c：日本と海外との対比から自分たちの生活を考え、それを文章にまとめられている。 d：文章の構造や展開を理解し、筆者の意図を理解している。	発言 ノート プリント 確認テスト 考査
	『話を聞かせて』山本　文緒	・登場人物の言動から、その心情の変化を読み取る。 ・主人公が恋人のアドバイスを元に行動を変える前と後の対比構造を意識する。 ・小説のテーマである「働くこと」、「相手の視点に立って動くこと」について感想をまとめる。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○			○		a：「働くこと」、「相手の視点に立って動くこと」を現在と社会に出て行く今後の事を踏まえて、何を心がけるべきか等を考察できている。 d：主人公の行動の前後の結果を対比構造に即して読み解けている。	発言 ノート プリント 確認テスト 考査
	『ひよこの眼』山田　詠美	・登場人物、場面、心理描写、構成、表現など、小説の基本をふまえた上で、読み解く。 ・上記の基本的な読み方を押さえた上で、本文中に効果的に使われる表現がどのようなことを暗示しているか等を考える。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○			○	○	a：場面や登場人物の心理描写、表現を分析し、共感しようとしている。 d：文章の構成や展開、表現を確認し、筆者の意図を捉え理解している e：語句の意味、用法を的確に理解している。	発言 ノート 発表内容 プリント 確認テスト 考査

2	『鏡としての他者』榎本 博明	・具体例から結論、自分とは異なる意見を一旦出しておいての反論など、論理的な文章となっている本文の文章構造や論旨の展開を把握する。 ・「自己は他者である」という筆者の主張を元に、「他者からの自分へ評価」と「自分が思う自己への評価」の認識の一致点や不一致点を考え、グループで話し合う。もし、不一致が生ずる場合はなぜか、その不一致についてどう思うかを考察する。	○		○	○		ａ、ｄ： 文章の構成や論理展開を確認し、筆者の意図を捉え理解している。 ｃ：「自己は他者である」という筆者の主張を元に、「他者からの自分へ評価」と「自分が思う自己への評価」の認識の一致点や不一致点を考え、各々が考え、書いたものをグループ内で発表出来ている。また、相手の意見を聞きつつ、自分の意見をしっかり言えている。	発言 プリント ノート 確認テスト 考査
	『僕らの時代のメディアリテラシー』森 達也	・具体例、因果関係などの文章構造に着目して文章全体の論理を理解する。 ・市場原理主義の結果、メディアが分かりやすさを目指し、結果として間違った世界観やステレオタイプを世界中に撒き散らす危険性があることを理解させる。 ・メディアの危険性を踏まえたうえで、どのようにメディアとつきあうべきかを考察する。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○	○		○		ａ、ｄ： 文章の構成や論理展開を確認し、筆者の意図を捉え理解している。 ｂ：メディアの危険性とそのつきあい方を各々が考え、書いたものをグループ内で発表出来ている。また、相手の意見を聞きつつ、自分の意見をしっかり言えている。	発言 ノート プリント 確認テスト 考査
	『卒業』魚住 直子	・登場人物の置かれている状況、心情を把握し、出来事を通して、それらがどう変わっていくかを対比構造的に理解する。 ・これから新しい生活に進んでいくことになる生徒に「働くこと」、「人間関係の変化」、「大人になること」について考えさせる。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○			○	○	ａ、ｄ：登場人物の置かれている状況、心情を把握し、出来事を通して、それらがどう変わっていくかを対比構造的に理解できている。 e：語句の意味、用法を的確に理解している。	発言 ノート プリント 確認テスト 考査

	『こころ』夏目漱石	・登場人物の言動、情景描写等から、心情の変化を読み解く。 ・自分が「私」だったら、「K」だったらどうするか、どう生きるかをシミュレーションし、その理由を相手に分かるように整理し、説明出来る。その上で自分の生き方を考察する。 ・クラスメイトの発表をしっかり聞き取り、それに関して意見を述べつつ、思考の幅を広げる。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○		○	○		a：もし、自分が登場人物であればどうしたか、ということをシミュレーションし、自分の生き方を考察している。 c：自分の意見を論理的に整理出来ている。 d：登場人物の言動、情景描写から心情の変化を読み取っている。	発言 プリント ノート 確認テスト 考査
3	『経験の教えについて』森本　哲郎	・　問題提起、指示語、接続語などに注意を払いつつ、論理的文章の構成や展開を確認し、筆者の意図を捉え理解する。 ・現在の自分の考え方や自我に影響を与えた経験を書き、発表しあう。 ・新しい漢字や語句を学習する。	○			○	○	a：文章の構成や論理展開を確認し、筆者の意図を捉え理解しようとしている。 d：文章の構成や論理展開を確認し、筆者の意図を捉え理解している。 e：語句の意味、用法を的確に理解している。	発言 プリント ノート 確認テスト 考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：話す・聞く能力　　c：書く能力

d：読む能力　　e：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。